

シグナルマークについて

シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で必ず記載の注意事項を守ってください。

- △警告 - 取扱いを誤った場合に、**死亡・重傷の危険が発生する可能性があります。**
- △注意 - 取扱いを誤った場合に、**軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。**

積載物と積載物の制限について

- △注意 最大積載重量は60kgまでです。過積載は絶対に行わないでください。使用状況によっては60kg未満でも屋根の変形及び、キャリアが破損する場合があります。また過酷な使用、制限を超える積載を行うことにより60kg未満でも積載能力は変化し低下いたします。
- △注意 本製品は荷物用の積載キャリアです。次の物は積載しないでください。
[スキー板・ストック・スノーボード・サーフボード・自転車・コンテナ・ウィンドサーフィン・ポール・ブーム・ボート・カヌー・カヤック]
- △注意 下記の大きさを超える荷物は積載しないでください。又積載物がキャリアからはみ出す場合は、はみ出し量は前後均等にはみ出すようにしてください。

品番	積載物の制限(単位=mm)		
	長さ	幅	高さ
SA-31	2630	1050	600



取扱い上の注意

- △警告 走行前には必ず、各締付け部にユルミが無いかを点検してください。
→締付け部にユルミがあると、思わぬ脱落事故を起こします。
- △警告 初期ユルミが発生しますので、初回30キロ走行後には必ず各締付け部を増締めしてください。
- △警告 キャリアの装着時は特に法定速度を守り、急発進・急ブレーキ・急ハンドル等の過酷な避け、悪路では徐行してください。
- △警告 走行中にキャリアからガタツキ音等の異常音が聞こえた場合は速やかに停車しキャリアの状態を確認してください。
- △注意 積載物をキャリアに固定する際は、脚部、を利用してロープ等で固定しないでください。
→脚部に集中的に大きな負担がかかり、脚部のネジ取付け部に緩みが発生し破損及び脱落の原因になります。
- △注意 積載物の重量の配分はどちらか(左右)に片寄らないようにしてできるだけ均等に平坦に積載してください。
→積載物が片寄ってしまうと運転に支障が生じたり、キャリアにも変則的な力がかかり破損や脱落事故の原因になります。
- △注意 積載物をキャリアから載せたり、降ろしたりする際はキャリアに衝撃がかからないようにゆっくりと行ってください。
→強い衝撃[集中的荷重]がかかることによりキャリアの破損及び脱落の原因になります。
- △注意 キャリアからはみ出す長尺物を積載した状態でバックドアを開けないでください
→バックドアのガラス面が当たり破損の原因になります。
- △注意 キャリアの装着時及び荷物を積載している時は車両の地上高が高くなる為、駐車場・高架等の高さ制限のある場所を通過する場合には十分ご注意ください。

海外使用について

本製品は、日本国内使用専用となります。海外(他国)使用により発生した際の品質保証は一切お受けいたしておりませんのでご注意ください。(対外規格は取得しておりません。)また万一の事故、損害等のあらゆる責務に対しても、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

事故が起きたときは

- 製品の欠陥などにより万一事故が発生した時は速やかに販売店又は弊社までご連絡ください。事故対応をスムーズに行うためにお客様には以下の事をお願いします。
- (1)事故製品の確保・・・事故発生時のままの状態のもの(製品をバラしたりしない)
 - (2)損害の内容・・・損害を受けた現物、また損害を証明できるもの
 - (3)事故発生状況・・・日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出(事故届、紛失届)
(いつ・どこで・何が・どのように)

お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

Rocky+ ロッキープラス株式会社

名古屋市守山区元郷2-107 TEL 052-778-7876 FAX 052-778-7718

http://www.rocky.ne.jp rocky@rocky.ne.jp

ROCKY ROOF CARRIER

SAシリーズ 取扱い説明書 ②

品番 / SA-31 ADバン・ファミリアバン ランサーカーゴ専用

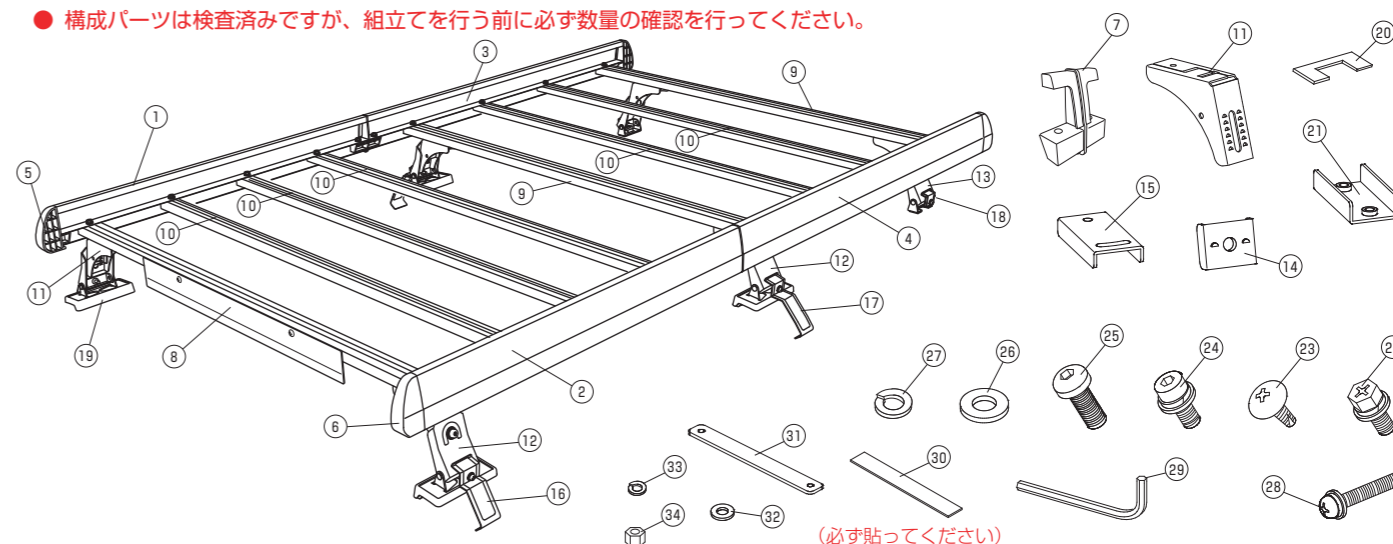
この度は、ロッキーフキャリア「SAシリーズ」をお買い上げいただきありがとうございます。常に安全な状態でご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上正しくご使用ください。
尚、販売店にて本製品を取付けられましたら本書を必ずお客様にお渡しください。
製品(組立て・取付け等)についてご不明な点はお買い求めの販売店又は、弊社までお問い合わせください。誤った組立て、取付け、使用による事故の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

ご使用前に

- △警告 本製品は、ニッサン・ADバン・エキスパート(Y12系)/マツダ・ファミリアバン(Y12系)/三菱・ランサーカーゴ(Y12系)専用キャリアになります。他の車両には取付けないでください。
- △警告 本製品の改造は絶対に行わないでください。
本製品の改造による事故責任は一切負いかねます。
「例」 部品類の穴あけ加工・溶接
市販品のアタッチメントを使用して荷物(スキー・自転車)等の積載
本製品以外の部品による組立て及び、部品交換
荷受部の全面に合板等を敷く・看板等の取付け
- △警告 部品不足での使用は絶対に行わないでください。
- △注意 キャリアを取付けた状態で洗車機にかけないでください。
キャリアに無理な力がかかり、ルーフの変形等の損傷を車に与えます。
- △注意 本製品には積載物の制限があります。制限を超える物は絶対に積載しないでください。
又、積載物がキャリアから、はみ出す場合は、はみ出し量は前後均等に積載してください。
裏面、「積載物と積載物の制限について」をよくお読みください。

構成パーツ

- 構成パーツは検査済みですが、組立てを行う前に必ず数量の確認を行ってください。



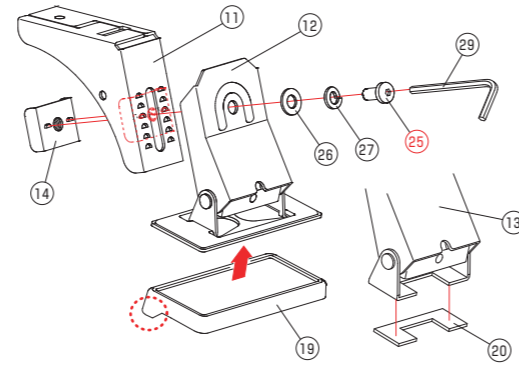
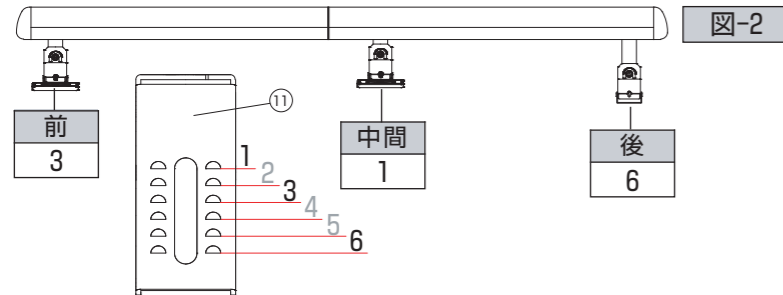
No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量
①	サイドフレーム短(前/右)	1	⑩	荷台フレーム	5	⑱	ベースゴム(TYPE2)	4	⑳	⊕丸ネジセット M6	6
②	サイドフレーム短(前/左)	1	⑪	脚ステー	6	㉑	ゴムシート	2	㉒	L型レンチ	1
③	サイドフレーム長(後/右)	1	⑫	前・中間用脚セット	4	㉓	ナットプレート	6	㉔	塩ビテープ	6
④	サイドフレーム長(後/左)	1	⑬	後用脚セット	2	㉕	⊕六角ボルトセットM6	20	㉖	アンテナホルダー	1
⑤	先端キャップ(R)	2	⑭	ステーナット	6	㉗	⊕タッピングビス5ミリ	4	㉘	⊕六角ボルトセットM6	1
⑥	先端キャップ(L)	2	⑮	ステープレート	6	㉙	キャップボルトセットM6	12	㉚	平座金 M6	1
⑦	中間ジョイント	2	⑯	前用取付フック	2	㉛	キャップボルトM8	6	㉜	パネ座金 M6	1
⑧	脚フレーム(整流板付)	1	⑰	中間用取付フック	2	㉝	平座金 M8	6	㉞	六角ナットM6	1
⑨	脚フレーム	2	⑱	後用取付フック	2	㉟	パネ座金 M8	6			

5種類は同一梱包です

組立て方法

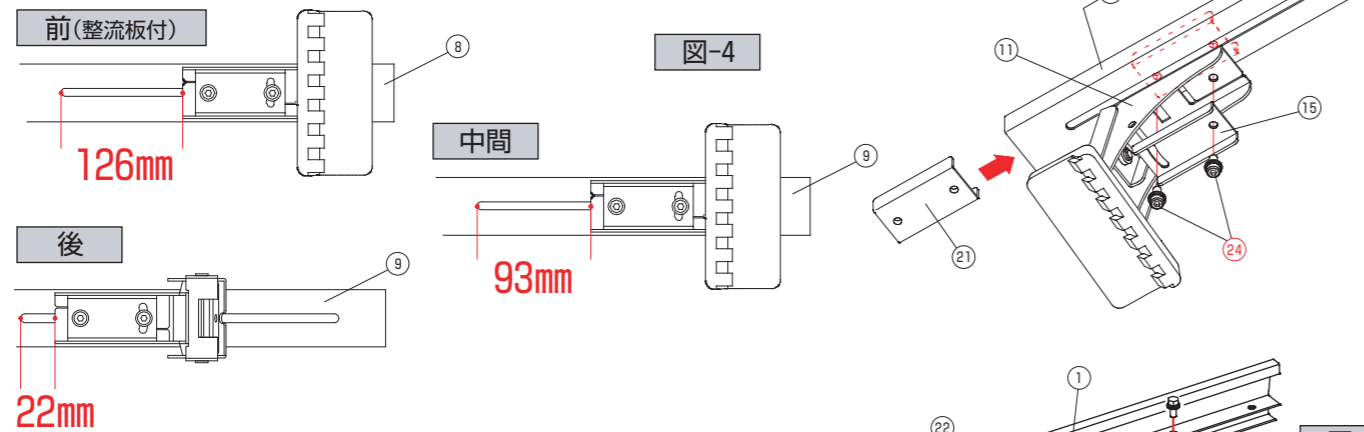
- 1 ⑫前・中間用脚セットには⑬ベースゴムの凸部の向きに注意して組付け、⑬後用脚セットには⑭ゴムシートを貼ります。〔図-1〕
⑪脚ステーと⑫脚セットを下図の位置に合わせて仮組付けをします。〔図-2〕

△注意 車両に取付ける際に角度調整を行う為、必ず⑫キャップボルトM8は仮組付けの状態にしてください。

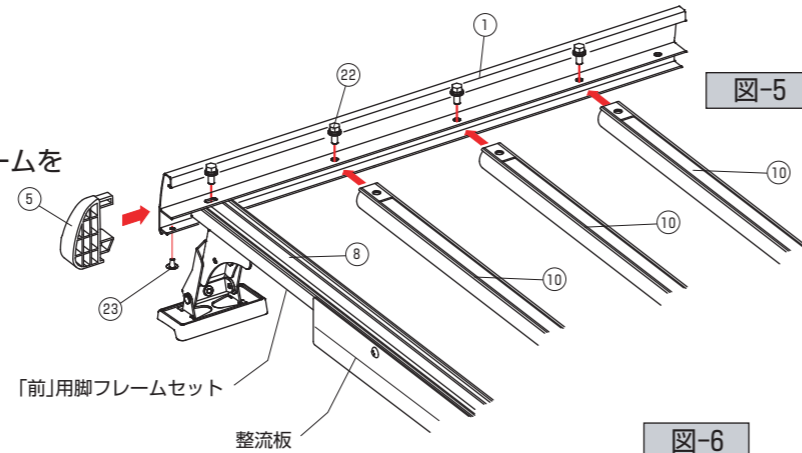


- 2 ⑧⑨脚フレームに⑮ナットプレートを通します。⑪脚ステーの裏に⑮ステープレートの長穴の向きに注意してかませ、⑲キャップボルトセットM6にて下記寸法に従って仮組付けをします。〔図-3・4〕

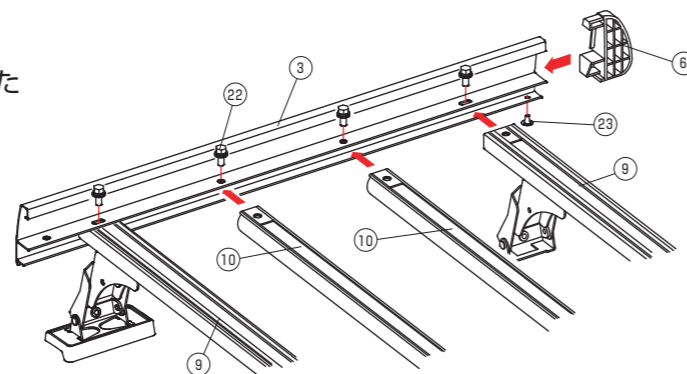
△注意 車両に取付ける際に角度調整を行う為、必ず⑲キャップボルトセットM6は仮組付けの状態にしてください。



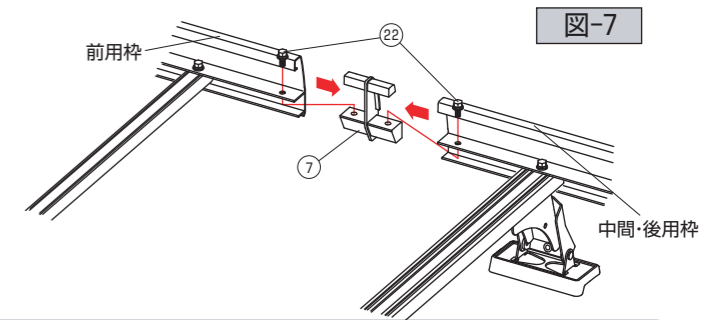
- 3 ①②サイドフレーム短(前/左右)に「2」で組立てた「前」用脚フレームセット(整流板付)と⑩荷台フレームを⑲六角ボルトセットM6で組付け、①②サイドフレーム先端に⑤⑥先端キャップ(R/L)をはめ込み下から⑲タッピングビス5ミリで固定します。〔図-5〕



- 4 「3」同様に③④サイドフレーム長(後/左右)に「2」で組立てた「中間」及び「後」の脚フレームセットと⑩荷台フレームを⑲六角ボルトセットM6で組付け、③④サイドフレーム先端に⑤⑥先端キャップ(R/L)をはめ込み、下から⑲タッピングビス5ミリで固定します。〔図-6〕



- 5 「3・4」で組立てた前枠用と中間・後用枠を⑦ジョイントにて結合させ、⑲六角ボルトセットM6でしっかりと固定します。〔図-7〕

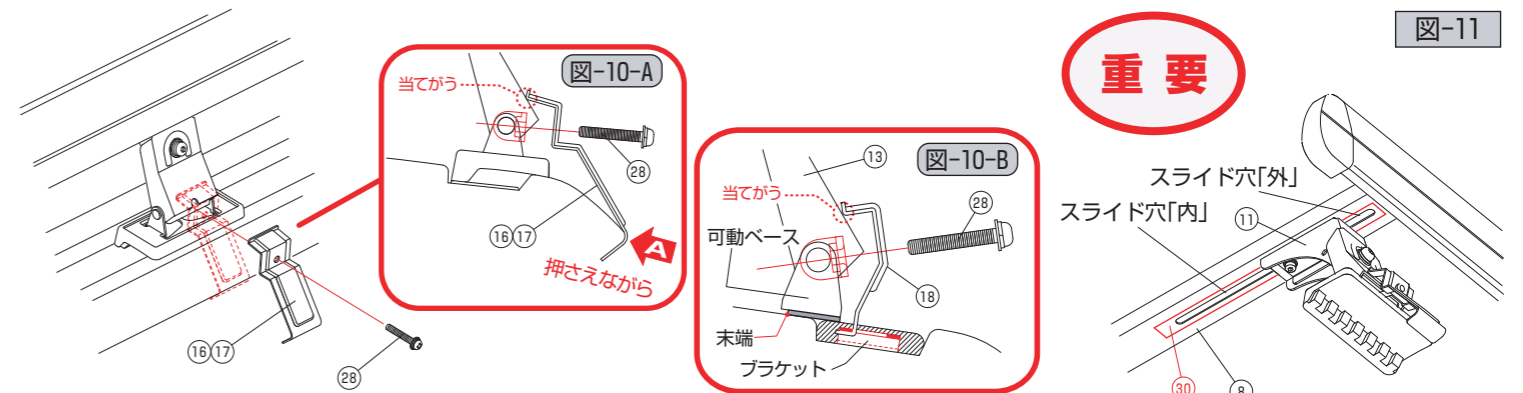
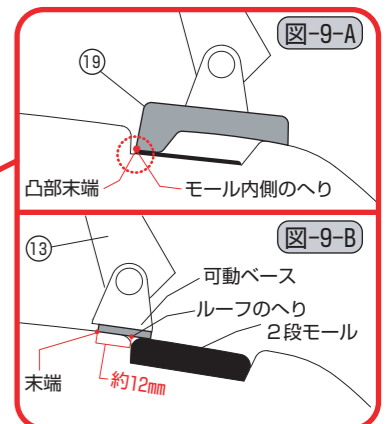
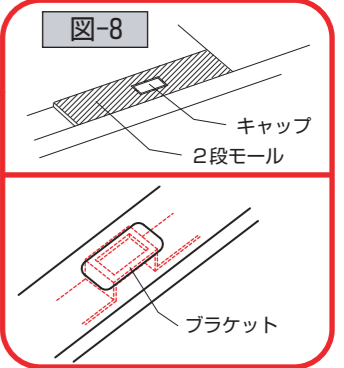


取付け方法

△注意 キャリアの取付け時は必ず2人以上で行ってください。ルーフのキズやヘコミ、キャリアの破損の防止になります。

- 1 車両のルーフモール後部にある2段モール上のキャップ(左右2ヶ所)をカッター等で取外します。取外すと中に⑱後用取付フックを引っ掛ける為のブラケットが装備されています。〔図-8〕
2 ルーフ面の埃や汚れをきれいに拭き取った後、ゆっくりとキャリアをルーフの上に載せ、⑬後用脚セットの中心が先程取外したキャップ穴の中心にくるように前後の位置を合わせます。次に左右の脚の位置を確認します。〔前〕と〔中間〕はモールの内側のへりと⑲ベースゴムの凸部末端が同じラインになるように調整を行います。〔図-9-A〕〔後〕は2段モール内側のルーフのへりから約12mmの所に⑬後用脚セットの可動ベースの末端がくるように調整を行います。〔図-9-B〕調整後、⑲ベースゴム及び⑬後用脚セットの可動ベースがルーフ面になじんでいる事を確認し、組立て方法「1」で仮組付け状態の⑲キャップボルトM8をしっかりと締付けてから、組立て方法「2」で仮組付け状態の⑲キャップボルトM6をしっかりと締付けます。
3 ⑱前用取付フックは〔前〕の脚セットへ、⑲中間用取付フックは〔中間〕の脚セットへ、フック上端を脚セットに当てがい〔A〕部を指で押さえながら⑲丸ネジセットM6にて左右均等に締付けます。〔図-10-A〕⑲後用取付フックは〔後〕のキャップ穴下のブラケットの切込みにフック先端を引っ掛け、フック上端を脚セットへ当てがいゆっくりと確実に⑲丸ネジセットM6にて左右均等に締付けます。〔図-10-B〕

△注意 ⑲丸ネジセットM6を締付けていく際は⑬後用脚セットの可動ベースの末端が若干浮き上がる傾向があります。可動ベースが常にルーフ面と2段モールになじんだ状態であることを確認し浮き上がっている場合は可動ベースの角度を調節しながらゆっくり左右均等に締め付けを行ってください。



重要

- 4 ⑧⑨脚フレームのスライド穴を⑳塩ビテープにて塞ぎます。スライド穴は⑪脚ステーをまたいで「内」と「外」に分割されますので、⑳塩ビテープをカットして「内」と「外」全てのスライド穴を確実に塞いでください。〔図-11〕

△注意 この作業を怠ると走行時に笛を吹いたような異音が発生します。また雨天や洗車時に水が浸入するためサビ発生の原因になります。

- 5 ⑳アンテナホルダーの片側の穴と「中間」の⑪脚ステーの横の穴に⑲六角ボルトセットM6を通し、⑪脚ステーの裏側から㉑平座金M6㉒バネ座金M6㉓六角ナットM6にて締付けます。締付け後、⑳アンテナホルダーを曲げてもう一つの穴にアンテナの先端を通し引っ掛けてください。〔図-12〕

- 6 最後にキャリアを前後左右に揺すりガタツキが無いことを確認してください。ガタツキがある場合は再度取付けをやり直してください。

△注意 長尺物を積載した状態でバックドアは絶対に開けないでください。バックドアがガラス面に当たり破損の原因になります。

